



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目9番20号 大阪マルビル第一ホテル

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪4F

会長 二宮秀造 幹事 中島豊彦 広報委員長 奥 崇



ごころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

電話 (06) 6345-1115 (直通) 電話 (06) 6341-4411 (ホテル) FAX (06) 6344-8222 E-mail: temma-rc@lapis.plala.or.jp http://temmabashirc.xsrv.jp/

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

FEBRUARY 16 2012 NO. 2145

世界理解月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2145回)
- 2) ソング 奉仕の理想
- 3) 卓話 世界理解月間記念卓話
「タイでのWCS事業について」
国際奉仕委員会
- 4) 第3回被選理理事会
- 5) ロータリー財団100万ドルミール実施

次週(2月23日)のお知らせ

- 1) 例会 (2146回)
- 2) ソング 七つの子
- 3) 卓話 「近年の労働トラブルについて」
大阪府社会保険労務士会
副会長 土橋 純二郎 様
宮下 佳昭会員紹介
- 4) 3月度定例理事会

☆☆ 2月度の結婚記念日 ☆☆

藤井 弁次 重里 國麿 小澤 満
宇野 稔 金田 五郎 成松 正和
(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

皆様こんにちは、来訪ロータリアンの皆様ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。また本日の卓話をして頂きますハーモニカ世界一のもり・けん様、宜しくお願ひ致します。

2月に入り、1日1日が早く過ぎて行くようです。今月のタイのWCS事業も目前に迫り、慌ただしく渡航の準備をしております。そんな中、今週の日曜日に家内とスーツケースを買いにヨドバシカメラに行き、二人とも風邪をうつされ月曜日は薬が良く効いて眠くて最悪でした。人混みの中での空気は、うがいをするなど自己管理の大切さが身に染みました。皆様もお気を付け下さい。

さて、各テーブルマスターに「ロータリーは何でも1万円」を打破し、テーブル情報集会を8千円で開催するようお願いしましたところ、先週下半期第1回目の情報集会が、6千4百円に抑

えて開催して頂きました。会場は上海楼で、料理も美味しく腹いっぱい食べて飲み放題、しかも個室でしたので各テーブルも皆さん盛り上がり、頗る上機嫌で久し振りに大声で笑いながら過ごすことができました。

本日は、勝見茂会員の新人会員歓迎会です。先々週勝見会員がお休みでしたので、「メイクアップの仕方わかりますか?」と質問したところ、「ヒルトンホテルで友人が大阪西クラブにいるので2月6日にメイクします。ご心配をおかけしてすみません」と素晴らしい返答があり、新人離れしたお答えをいただきました。とてもその態度は堂々とされており素晴らしい仲間恵まれましたこと、有り難く思いました。

最後に、2月6日の夜、大阪アーバンロータリークラブの加盟認証状伝達式Charter Nightが、ホテル・グランヴィア大阪でありました。私と永田幹事エレクトとで出席して参りました。230人ものロータリアンが集まり盛大にセレモニーが行われ、全員で祝いましたことご報告いたします。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ① 「2012~2013年度版 ロータリー手帳」申し込みのご案内をお配りしています。2月23日(木)までに必ずご提出をお願いいたします。

☆☆ 出席報告 ☆☆ () 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	10名	会員総数	66名	2月9日の出席率	83.61%
国内ゲスト	2名	会員出席	51名(61名)	4週間前(1月19日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	21名	メイクアップを含む出席率	90.00%
外国ゲスト	0名	会員欠席	10名	メイクアップ実施会員	0名(欠席者6名)

- ②「大阪天満宮観梅のご案内」を本日お配りしています。ご返事を事務局までお願いいたします。
- ③No2.4テーブル、No6.7.8テーブル情報集会の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ④新入会員歓迎会が本日18:00からリーガロイヤルホテル「なにわ」にて開催されます。ご出席の方は宜しくお願いいたします。
- ⑤次週第3回被選理事会を開催いたします。本日もご案内をお配りしていますので関係各位宜しくお願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

広報委員会としてクラブ訪問をさせていただいております。本日のハーモニカ世界一の卓話にひかれて参りました。

大阪西南RC 河村美恵子、高澤富士子
本日の卓話、もり・けんさんよろしく。

井戸 幹雄

16ヵ年在籍自祝 山本 喬一

六ヶ月ホームクラブ出席自祝 二宮 秀造

6ヶ月ホームクラブ皆出席自祝 南川 和茂

77年前の今日、ポールハリスが初めて日本の土をふんだ記念すべき日です 重里 國麿

南川先生、アドバイス有難うございます。

高田 肇

寺内先生、大変、大変、大変、お世話になりました一心謝！ 大阪大手前RC 木村 節三

平成24年2月9日 合計金 60,000円
累計金 1,940,000円

☆☆ バナー交換 ☆☆



大阪西南RCの河村様と高澤様が広報委員会としてクラブ訪問され、両クラブのバナーが交換されました。

☆☆ 先週(2月9日)の卓話 ☆☆

「心の歌“童謡”を一緒に」

ハーモニカ世界一 もり・けん 様
井戸 幹雄 会員紹介



もり・けんさんは、童謡の心を伝える「童謡の伝道師」として世界一だと確信しています。

作曲家として新しい童謡の創作活動やハーモニカ奏者として日本の童謡や叙情歌のコンサート活動を国内外で展開、童謡の普及に努められています。

また、ミュージカル作家としても「緑の星」や「不思議の国のアリス」などを発表し、文科省の財団法人すざのこ文化振興財団により全国で公演されています。

04年4月、親子で初めての日本ハーモニカ賞を受賞されています。



☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

・ビーフカレー ・ミックスサラダ ・コーヒー

☆☆ No.1・3・5 情報集会 ☆☆



中央区道修町の「上海樓横堀店」において、2月2日（木）No.1・3・5テーブル情報集会が開催されました。

二宮会長はじめ特別参加の橋本会員を含む16名の参加で、会長ご挨拶のあと、浅川会員の乾杯の音頭で昔ながらの美味しい中華料理とお酒を楽しみながら、賑やかに日頃のロータリーライフについて語り合い、有意義な時間を過ごしました。

☆☆ 新入会員歓迎会 ☆☆



井戸幹雄会員ほか2名様の推薦で、今年1月に勝見茂さんが新会員になられたところから、2月9日午後6時よりリーガロイヤルホテルの焼肉処「なにわ」で、新入会員歓迎会が開かれました。ご本人以外に二宮秀造会長以下23名のロータ

リアンが参加し、中川政照親睦活動委員長の司会のもとに、全員が順次歓迎の言葉を述べましたが、勝見新会員は終始笑顔で悠々とこれに応えておられ、その大物ぶりを覗うことができました。（親睦活動委員会）

国際奉仕 (International Service)

ロータリーの第4奉仕部門は、ロータリアンが、国際理解、親善、平和を推進するために、実施できることすべてから成る。その方法は、他国の人々、その文化、慣習、業績、抱負、問題を知ることであり、また、旅行や国際大会出席による個人交流であり、読書や文通であり、さらに、他国の人々の役に立つクラブの活動やプロジェクトすべて（ロータリー財団を含む）に協力することである（『手続要覧2004年』P268）。

さらに、国際奉仕の目的 (Purpose of International Service) として「ロータリアンのあいだに、また、一般の人々のあいだに理解と善意をはぐくむことが、ロータリーの国際奉仕の明確な任務である（ロータリー章典8.080.1）」（『手続要覧2004年』P81）とあります。

国際奉仕も、クラブと会員両方の責務です。この奉仕が目指していることは、ロータリーの綱領第4項「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」にあります。概念上その内容は、世界社会奉仕 (WCS) プログラム、国際レベルの教育および文化交流活動、2月の世界理解月間とその催し、国際的な会合（ロータリー章典8.080.3）、に分類できます。

奉仕の理想

元京都RC

作詞 前田和一郎

元東京RC

作曲 萩原英一

奉仕の理想に集いし友よ

御国に捧げん我等の

生業

望むは世界の久遠の平和

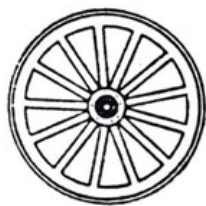
めぐる歯車いや輝きて

永久に栄えよ

我等のロータリー

ロータリー

ロータリーの歯車の歩み



文明の産物を運ぶために思いついた車輪は、歴史以前のものである。しかし、それがいつ、どこで発明されたものであるかは誰も知らない。多分、紀元前の末期、小アジアかヨーロッパで発明されたのではないかとされている。

ロータリー誕生の年に歯車も生まれた

世界中のロータリーの組織を象徴するため考案された歯車は、1905年（明治38年）ロータリー誕生の年に生まれている。



これは、ロータリー最初のクラブの彫刻家であったモンターギュー M. ベアが、シカゴの元気あふれる若い職業および専門職業人の新しいグループの徽章として、簡単に、かつ素朴な形の車輪を描いて、これをクラブに持参し提供したことに始まるのだ。創設者ポール・ハリスは、モンティーに対し幾つかの試案の提示を求めた結果、ポールはじめ一同が一致して賛成したのが、この車輪である。つまり、車輪は皆に親しまれた象徴であり、車輪は第一Rotateするからであった。

これが今日、襟章として、道標として、カフスボタンとして、ネクタイとして、その他例会の襟章に、壁掛けに、レターヘッドに、その他いわゆるロータリーを象徴する記号として使われている歯車の始まりである。



モンティーの考案のままの車輪は、そのままでは続かず、その後幾多の改良が行われ、これではあまりに簡単すぎるという見地から、モンティー・ベア自身、さらに車輪の下部分に、雲のようなデザインを加えた。しかし、その後、幻燈のスライド製作者である“Long Tom” Philipは雲の部分をもさらに広げてその上にリボンをつけ、これにRotary Clubの文字を入れた。つまり車輪が現実動いている体裁を整えたデザインにしたのであった。

独自の徽章を考案



この間、サンフランシスコ、オークランド、シアトル、その他のクラブでは、車輪を取り入れて独自の徽章を考案して使っていた。1910年に16のクラブが連合して新しいナショナルアソシエーションを組織したのであるが、定款その他の規定の作成に忙しく、徽章のことに触れる余裕がなかった。

本部はシカゴ・クラブの徽章を何とはなしに使っていたが、1912年ドルースで連合大会を開催するに当たり、本部としてもこのままにはできないので、全体に共通する徽章のデザインを考案するよう、全クラブに呼びかけた。しかし、もちろん車輪を基本的なものとするに変わりはなかった。

かくして、ドルースの大会においてロータリーは名実ともに国際的になったが、ロータリーは、ここに初めてローヤル・ブルー（濃青色）と金色の歯車を正式の徽章として、制定したのであった。



しかし、その後専門家から、この歯車は技術的に不完全であり、このままでは動かないとの注意が出たので、2人の技術者（ドルースのOscar B. BjorgeとシカゴのCharles Henry Mackintosh）からなる委員会が任命され、技術的に正確に動く歯車が検討された。

楔穴を付け加え完成



この委員会が考案したデザインは1920年正式に採用公布となり、これが今日われわれが親しんでいるロータリー・マークであるが、ただ、ひとつだけ違いがある。それは、前記2人の委員が楔穴（Key way）を見落としたことで、これがないと歯車は車軸からの（または車軸への）力を伝えることができなくて遊んでしまうわけである。かくして楔穴も付け加えられて、歯車は休止することなく今日まで回転し続けているのである。

この歯車に国際ロータリーとしては、一般的な解釈以外に何か特別の意義を持たせているのではないかと、よく問題になるが、公式にいつても何もない。しかし古来幾千のクラブが歯車の6つの輻と24の歯に特別の意義を見いだしている。